

単元名 ゆうぐであそぼう

日 時：平成 29 年 4 月 17 日～5 月 8 日

場 所：和歌山市立中之島小学校 運動場・体育館

学 級：1 年 1 組 23 名（男子 10 名 女子 13 名）

授業者：森下 華菜子

こんな授業に・・・

運動のおもしろさを“手や足で体を支えてぶらさがったり、逆さになったり、移動したりすること”ととらえ、小学校に入学したばかりの子どもたちに、遊具の使い方を紹介し、いろいろな移動の仕方や逆さ感覚を身に付けるとともに、友達と一緒に活動する楽しさを感じられる授業をめざした。

SD 課題・・・いろいろなうごきかたをしてみよう

AD 課題・・・ともだちのうごきをまねしてみよう

タイヤとび



肋木



登り棒



雲梯



ジャングルジム



授業を通して（成果・課題）

- ・小学校の体育として最初の単元だったが、子どもたちは怖がらずに意欲的に様々な動きに挑戦することができた。友達との関わりも、最初は少なく感じたが、互いに声を掛けあい、「それやってみよう。」「一緒にしよう。」などというような声が徐々に聞かれるようになってきた。
- ・初めて経験する固定施設が多かったためか、子どもたちが考える動きの種類は少なかったが、教師から声を掛けたり、子どもたちが考えた動きやポイントを全体で紹介し合うことで少しずつ動きの種類が増え、意欲的に取り組むことができるようになった。
- ・登り棒での登り下りや、雲梯での渡り歩きなどは、1年生の子どもたちの実態から考えると、少し難しいと感じた。登り棒では、棒の途中の目印を目標に、より高くまで登ろうとする姿が見られた。
- ・この時期の1年生の子どもたちの実態を考え、今回は、学級の仲間づくりの観点から、複数の運動の場をみんなで巡回したので、運動量が少なくなってしまうように思う。より楽しく活動できるような運動の場の工夫を考える必要があると感じた。